

平成 24 年度 子どもゆめ基金リレーションシップ事業  
富士のさと秋祭り「オープンハウス 2012」

平成 24 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）



## I 事業の背景（必要性）

現代を生きる青少年をめぐる課題は多岐にわたっているが、これらの諸課題のうち、特に強く指摘されているのが直接的な体験の不足と対人関係の希薄さである。中央教育審議会や生涯学習審議会などでは、これらの課題を解決するために必要なこととして「生きる力」をはぐくむことや、生活体験、社会体験、自然体験の機会を増やすことの必要性を述べている。

国立の青少年教育施設である当交流の家は、そうした課題を解決するために、より多くの方に体験活動の場を提供し、その重要性を普及していくことが求められている。また、周辺地域を利用した活動プログラムを実施したり、より効果的な教育事業を展開したりするためには、地域との連携が必要不可欠である。

そこで、施設を開放し、様々な活動プログラムの体験やイベントへの参加を通して、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図るとともに、地域の関係団体と連携して世代を超えた交流の場を設定することで、地域に親しまれる施設づくりを進めていくことを目的として、本事業を企画した。

## II 事業の概要

### 1. 趣 旨

当交流の家の活動プログラムを中心とした様々な体験活動を通して、体験活動の楽しさを体感するとともに、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図る。

また、地域における学習成果の発表や団体間の交流の機会とすることにより、地域の生涯学習の振興に寄与するとともに、本事業の取組を通して、関係団体との連携をより一層緊密にし、地域に親しまれる施設づくりの一環とする。

### 2. 参加者

#### (1) 対象

子ども・親子等

#### (2) 参加状況

【来場者】 15,867 名

（御殿場市「スカイドリーム」との共催による人数）



【会場の様子】

#### (3) 広報の方法

- ①ポスター・チラシを作成（御殿場市「スカイドリーム」との共同作成）
- ②近隣の小・中学校、近隣公共施設（市役所・町役場）等に案内を配布
- ③地元新聞社・広報誌に掲載を依頼

④当交流の家ホームページに掲載

3. 日 程

	(午前) 10:00~12:00	(午後) 12:00~15:00
13日 (土)	○開会セレモニー ○サイエンスショー【講堂】	<各コーナー開始> ○自然体験【つどいの広場・柔剣道場】 ○文化体験【研修館「富士」・体育館】 ○展示【研修館「富士」】 ○出店【つどいの広場】
14日 (日)	○ステージ発表(遊技・ダンス)【かたらいの広場特設ステージ】 <各コーナー開始> ○自然体験【つどいの広場・野外活動棟】 ○文化体験【研修館「富士」・体育館】 ○展示【研修館「富士」】 出店【つどいの広場】	

4. 内 容 (☆…今年度新規の内容)

(1) 体験コーナー

1) 屋外活動プログラム

①手作りピザ体験 【野外活動棟】

・ドラム缶を利用した手作りピザの体験 【遊びリンピックの様子】

②ミニエコツアー 【ログハウス「愛鷹」, 交流の家キャンプ場】

講師：小曾戸 恒夫氏

・富士山に関するクイズと自然観察等

③遊びリンピック 【テニスハードコート】

・ストラックアウト, だるま落とし, 輪投げ, ペン立て等

☆④煙ハウス体験 【事務室前ピロティ】

協力：御殿場・小山消防署

・建物内で火災が起こったときの煙の体験

☆⑤野外力検定 【つどいの広場】

協力：ボーイスカウト御殿場・小山地区

・「にょいの達人」「丸太切り」

☆⑥自然体験 【つどいの広場】

協力：ガールスカウト御殿場第33・34団

・「ネイチャーゲーム」「寝袋体験」「ロープワーク」  
「鉛筆クラフト」

☆⑦ツリーイング 【つどいの広場(大きな木を利用)】

協力：ツリー・マスタークライミング・アカデミー

・ロープを使ったツリーイング体験



【野外力検定の様子】



【ツリーイング】

## 2) 屋内活動プログラム

- ①ミニ熱気球作り 【体育館】 (参加人数：465名)
  - ・ゴミ袋を使ったミニ気球作り
- ②レクリエーション 【柔・剣道場】 (御殿場市子ども会世話人連合会)
  - ・様々なゲームができるブースを設置, 子ども会とジュニアリーダーが運営
- ③ネイチャークラフト作り体験 講師：石井 隆 氏
- ④ファークラフト作り体験 講師：石井スミ子氏
- ⑤七宝焼き作り体験 講師：内山 淳子氏, 伊藤さとみ氏
- ⑥コサージュ作り体験 講師：黒澤佳壽子氏
- ⑦アロマクラフト作り体験 講師：菅原このみ氏
- ⑧折り紙教室 (御殿場市文化協会)
- ⑨華道教室 (御殿場市文化協会)
- ⑩和服の絵付け体験 (御殿場市文化協会)
- ⑪茶道体験 (御殿場市文化協会)
- ⑫木工細工の組み立て体験 (高橋建具)



【ミニ熱気球作り】

## (2) 発表コーナー

### 1) サイエンスショー【講堂】

米村でんじろう一門によるおもしろ科学実験ショー (参加人数：約 300名)

### 2) かたらいの広場【屋外ステージ】

- ①印野保育園 (遊戯)
- ②玉穂第2保育園 (遊戯)
- ③双葉保育園 (マーチング演奏)
- ④御殿場吹奏楽団 (吹奏楽演奏)
- ⑤ニヘイミチヨ ダンス教室 (ジャズダンス)
- ⑥富士山ネットワーク (表彰等)
- ⑦カ・プアラニ・フラダンス (フラダンス)
- ⑧サンライズウインドゥアンサンブル (吹奏楽演奏)
- ⑨土に還る木 チェーンソーアート (チェーンソーを使った作品作り)



【サイエンスショー】

## (3) 展示コーナー 【研修館「富士」】

- ①「御殿場市姉妹都市の写真展示」 (御殿場市役所市民協働課)
- ②「未来への手紙コーナー」「無料コーヒーコーナー」(御殿場ロータリークラブ)
- ③「盆栽の展示」 (御殿場市文化協会)
- ④「富士山世界遺産展示」 (富士山世界文化遺産御殿場市民推進協会)
- ⑤「マイコレクション」 (NPO 法人富士賛会議)
- ⑥建具展示 (高橋建具)
- ⑦「紙漣・勾玉・宝石探し」 (富士山ネットワーク推進協議会)
- ⑧小学生作品展示 (書道・絵画等) (御殿場市内小学校)

※所長賞 (12名) 実行委員長賞 (10名)

#### (4) スポーツ大会

- ①フットサル大会                      協力：御殿場市サッカー協会  
参加4チームによるリーグ戦
- ②テニス大会                              協力：御殿場市テニス協会  
参加9チーム（参加人数 約50名）による団体戦



【フットサル大会の様子】

#### (5) 出店コーナー

- ①土に還る木（木製製品展示・販売）
- ②輸入雑貨ブタミニ（雑貨・衣料）
- ③ぼけもん屋（雑貨）
- ④フィギャ（雑貨）
- ⑤フリーマーケットきつき（手作り品）
- ⑥HONEY GINGER（フリーマーケット）
- ⑦オフィス KDN（植物・盆栽等）
- ⑧清竹すし（焼き鳥・チョコバナナ）
- ⑨富士宮やきそば  
（焼きそば・おやき・かき氷・フランクフルト）
- ⑩西洋フード（カレー・うどん・そば・パン）
- ⑪ステップワン（手作り食品販売）
- ⑫御殿場市文化協会  
（生涯学習会で作った手作り品）

#### (6) その他

- スタンプラリー                      【会場全体（本部：つどいの広場）】  
会場内にスタンプ台を4箇所設置（1つは本部に設置し、景品交換所を兼ねる）

### III 事業の企画・運営

#### 1. 企画のポイント

- ① 2日間開催とし、多くの来場者に展示作品の鑑賞や体験をしてもらえるようにした。
- ② 地域との連携強化を図るために、御殿場市のボーイスカウト、ガールスカウト、子ども会世話人連合会に体験活動コーナーの出展を、御殿場市体育協会にフットサル、テニス大会の運営を依頼した。
- ③ 科学をテーマとして、米村でんじろう一門による「サイエンスショー」の開催と「ミニ熱気球作り体験」を実施し、「見て・聞いて・作って・感じる（考える）」体験の場を企画した。

#### 2. 運営のポイント

##### ○ボランティアの活用

- ・学生ボランティア 34名
- ・法人ボランティア 4名                      計 38名

地元の中学校や高等学校から募集したボランティアと当交流の家で登録している法人ボランティアの方に、



【ボランティアによる受付業務補助の様子】

##### 【ボランティアの主な活動内容】

- ①受付業務補助                      （スタンプラリー、手作りピザ等）
- ②活動プログラム運営補助（遊びリンピック、ミニエコツアー、ミニ熱気球作り等）
- ③会場案内                              （チラシ配り等）

### 3. 成果と課題

#### (1) 成果

- ① 2日間開催により、作品を展示する期間を増やすことができた。
- ② 新しい団体（ボーイスカウト、ガールスカウト、ツリー・マスタークライミング・アカデミー）の参加により、体験活動の場が広がった。
- ③ 御殿場市体育協会、御殿場市子ども会世話人連合会等と連携した運営ができた。
- ④ 科学をテーマとし、「サイエンスショー」の開催と「ミニ熱気球作り体験」を実施し、好評であった。

#### (2) 課題

- ① 今後、中学・高校生の活躍の場を広げたり、新規の団体の参加を可能したりするためには、活動場所の確保や配置の工夫が必要である。
- ② より多くの方に参加、来場していただくために、より効果的な広報のあり方を考えていく必要がある。

担当：佐粧和也，柴田勝好，齋藤勝利